

# エルサルバドル政治経済月報

(2018年5月分)

2018年6月  
在エルサルバドル大使館

## [大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

## [大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

## 内政

### 1. 新国会の開幕

1日，新国会（任期2018年－2021年）が開幕。議長には前期（2018年5月1日－2019年10月31日）はノルマン・キハーノ議員（ARENA所属），後期（2019年11月1日－2021年4月30日）はマリオ・ポンセ議員（PCN所属）が選出された。

### 2. 与党 FMLN の大統領候補の選出

27日，与党 FMLN が大統領候補選出のための党内選挙を実施し，同党内選挙の結果，ウーゴ・マルティネス外相が FMLN の大統領候補に選出された。

## 外交

### 1. サンチェス・セレン大統領のコスタリカ大統領就任式への出席

8日，サンチェス・セレン大統領がカルロス・アルバラード・ケサダ・コスタリカ大統領の就任式に出席した。

### 2. カスタネダ外相代理の訪米

30日，カスタネダ外相代理が訪米し，ゴンザレス米国連邦下院議員と会談。TPS（一時的被身分保障）資格を有するエルサルバドル人に対し，TPSの資格とは異なる法的ステータスを与えることの重要性等を強調した。

## 経済

### 1. Bósforo プロジェクトによる太陽光発電所の建設

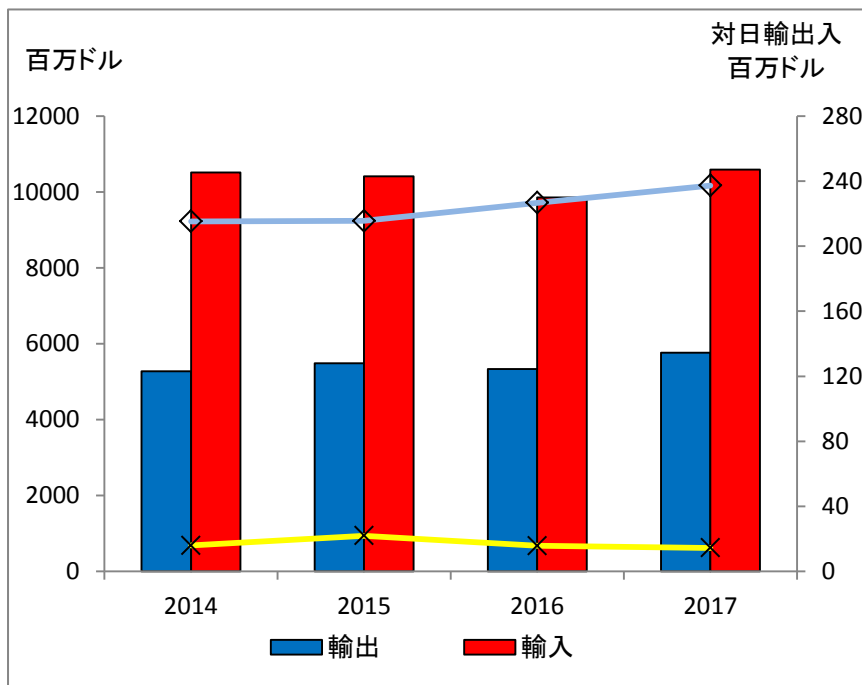
24日、AES（エルサルバドル配電会社）及びCMI（la Corporación Multi Inversiones）の投資による太陽光発電所開所式が東部ラ・ウニオン県パサキーナ市で開催された。同発電所には4万4千台の太陽光パネルが設置され、投資総額1,600万ドル、発電容量は10メガワットとなる。上記太陽光発電所建設は、「Bósforo プロジェクト」の一部であり、同プロジェクトでは今後2年間に10基の太陽光発電所の建設を行い、総投資額は1億6,00万ドルとなる予定。

### 2. 第5回税関統一交渉

5月28－6月1日、グアテマラにおいて、ホンジュラスとグアテマラの税関統一へのエルサルバドルの加盟のための第5回税関統一交渉が行われた。同交渉において、関税、原産地規制、衛生植物検疫、国境通関等について協議がなされ、ロドリゲス経済大臣は税関統一のための加盟議定書の最終確認を行っており、近日中に国会に提出できることを期待している旨述べた。

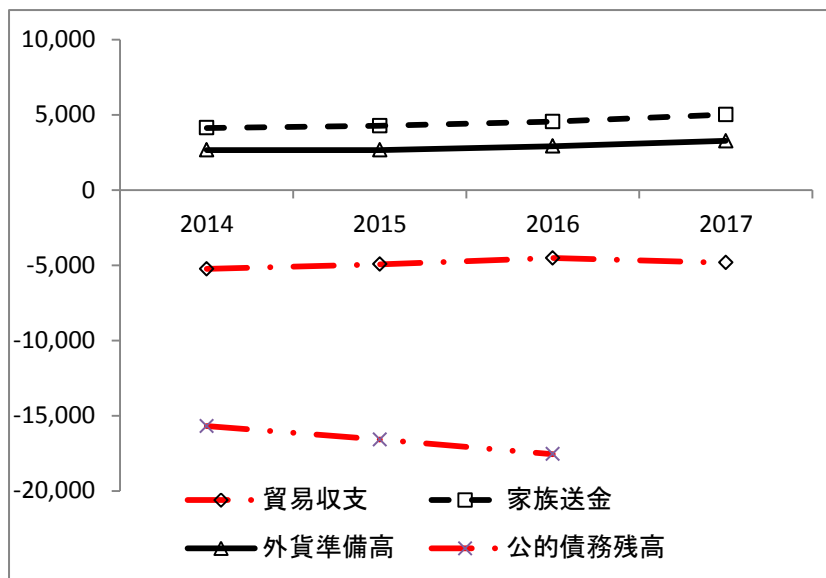
### 3. 中米・韓国 FTA 批准同意案の国会提出

28日、ロドリゲス経済大臣及びカスタネダ外務次官は、中米・韓国 FTA 批准同意案を国会に提出した。国会での批准後、同 FTA が発効される。



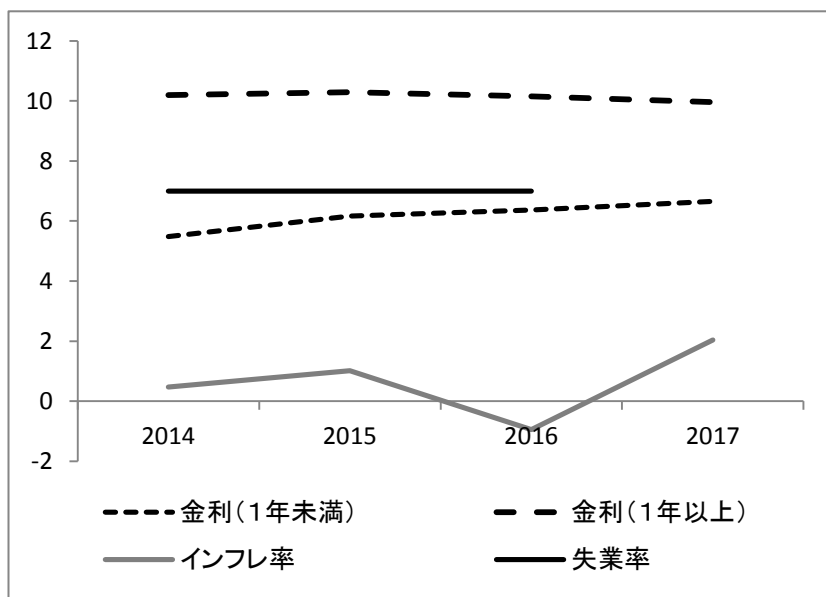
・2017年度輸出額は前年比で6.3%増加し、57億6千万ドルとなった。中でも、衣服、繊維、砂糖の輸出が輸出額増加に寄与した。

・輸入に関しては、前年比で7.8%増加し、105億9,200万ドルとなった。



・輸出は増加したものの、貿易赤字は前年比で9.6%増加し、48億3,200万ドルとなった。

・2017年の家族送金額はここ数年で最も高くなり、前年比で9.7%増加し、50億2,100万ドルとなった。米国からの家族送金は全体の約97.2%を占める。



・2017年度のインフレ率は2.04%となった。主に、住居、水、電気、ガス価格が上昇したことに起因。

出所：中央銀行，経済省統計局より作成

## 治安

### 【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、5月の殺人件数は241件となり、1月～5月の合計は1,491件（前年同時期よりも約6%増加）となった。治安当局によると、治安部隊の治安対策強化により、犯罪者の逮捕、違法銃器、違法薬物の押収が行われ、殺人件数が先月よりも減少したとのこと。
4. 2日付、当地主要紙の報道によると、パンチマルコ市(危険レベル2地域)Los Planes de Renderos地域の警察待機所にて、爆発物が爆発し、建物の壁や天井が崩壊、待機中の2名の警察官が軽傷を負った。治安当局によると、本事件の首謀者や犯行目的等は明らかになっていないが、この地域で活動しているマラスメンバーが警察を狙い手製爆弾（遠隔操作）もしくは手榴弾を使用したものと見ている。

3. 当国市民防災局は、5月5日から5月6日かけて発生した群発地震（274回、マグニチュード3.2～5.6）に関し、5月6日13時30分にサンミゲル県 CHIRILAGUA 市、ラウニオン県 INTIPUCA 市、EL CARMEN 市に対しオレンジ警報（上から二番目の警報）及びサンミゲル県及びラウニオン県全土に対して黄色警報（下から二番目の警報）を発出。この地震の影響により、172棟以上の家屋が損傷、11棟以上が全壊、幼児1名が軽傷。

今後もサンミゲル県、ラウニオン県に限らず、当国において、大きな地震が発生する可能性もあることから、非常食や懐中電灯・ヘルメット、避難経路等の確認を行い、非常時に備える必要がある。

4. 29日、当地主要紙によると、サンミゲル県を走行する公共バス（ルート320）がバイクで近づいてきた武装集団に襲撃を受け、3名死亡、4名が重軽傷を負う事件が発生した。

治安当局によると、殺害された三名の乗客は、マラス構成員であり、同組織内での抗争によるものと見ている。公共バスの利用した場合、犯罪被害に巻き込まれる可能性が非常に高くなるため、自家用車やラジオタクシーを利用し、移動する必要がある。

#### 【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 5月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

2. 5月14日、深夜帯に、サンサルバドル市エスカロン地区（la 3 calle poniente と 79 avenida norte の交差点付近）にて歩いていた若者3名が、車両にて接近してきた武装集団に銃撃を受け負傷するという事件が発生した。治安当局によると、被害者、加害者の情報は一切、判明しておらず、犯行動機についても不明であるとのこと。比較的、安全であると言われているエスカロン地区であっても、時間を間違えれば犯罪被害に遭う可能性は高く、特に、歩行での移動は危険が伴うため、移動の際にはラジオタクシーまたは自家用車を使用すると共に、夜間における不要不急の外出は避ける必要がある。

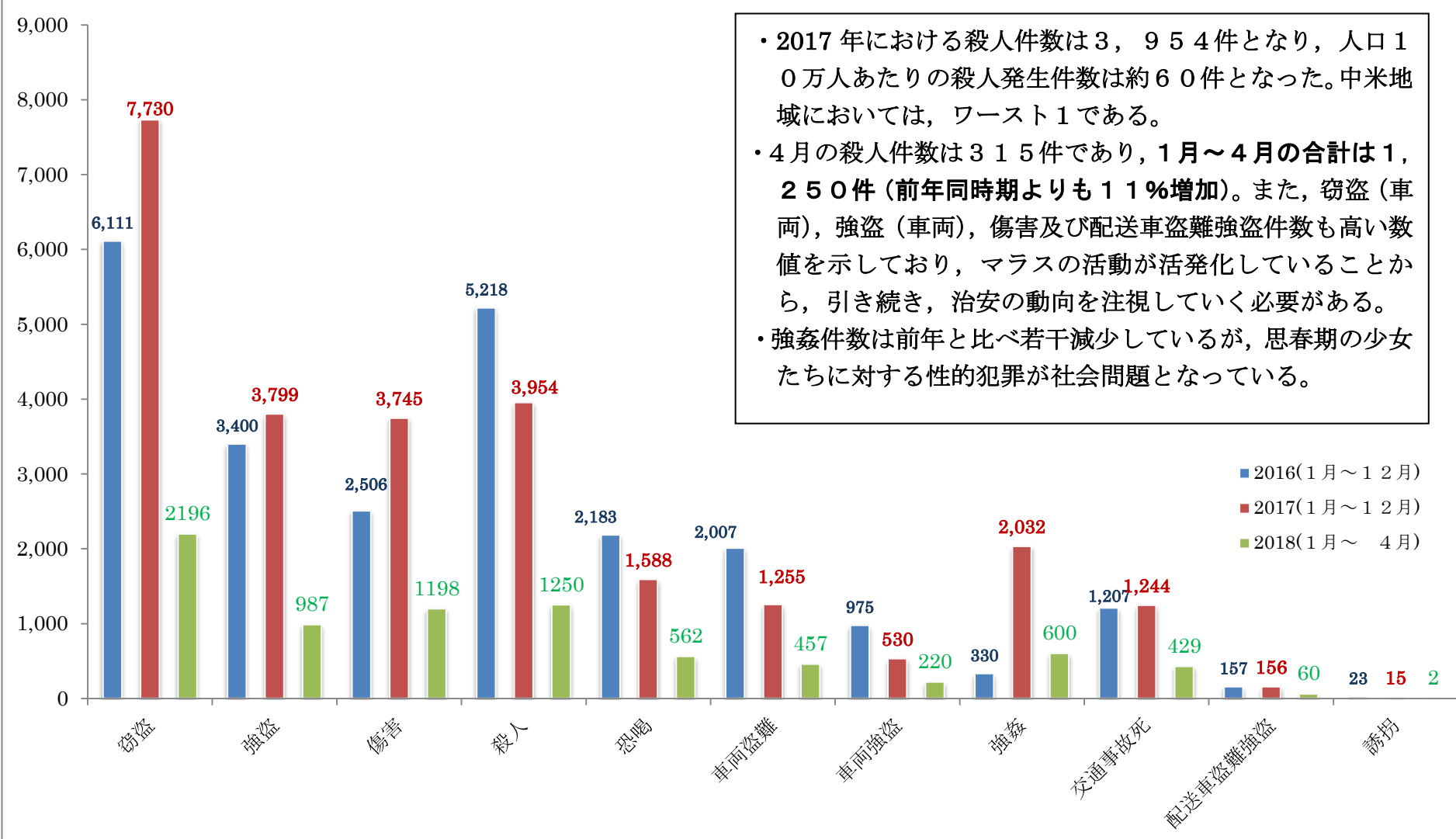
【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリノ児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計  
主要 11 犯罪（4 月）過去 2 年との同時期の比較



## 主な来館者

- 5月2日 コーヒー審議会会長： ネットオークション関係打合せ
- 5月7日 INSINCA 社長： 大使と共にラジオ出演
- 5月11日 IDB エルサルバドル代表： 意見交換
- 5月11日 メイスンサンサルバドル市長： 意見交換
- 5月15日 エコノミスト： 医療都市構想関係
- 5月17日 IDB ワシントン保井理事： 表敬挨拶
- 5月22日 FUSADES 会長他： 情報交換
- 5月28日 エクアドル新大使： 表敬挨拶
- 5月28日 コロンビア新大使： 表敬挨拶
- 5月30日 PROESA 総裁： 投資、輸出促進情報交換
- 5月31日 ミランダ外務次官他： 経済協力関係打合せ